



平成 30 年 5 月 21 日

各 位

会社名 **オーデリック株式会社**  
代表者名 代表取締役社長 伊藤 雅人  
(JASDAQ・コード番号 6889)  
問合せ先 取締役経営本部長 河井 隆  
(TEL. 03-3332-1111)

### 中期経営計画策定のお知らせ

当社グループは、2017年5月に中期3ヵ年経営計画を公表いたしました。当社グループにおきましては、事業環境の変化等に対応すべく、ローリング方式により中期経営計画を毎年度改定することとしております。

この度、2019年3月期を初年度とする中期3ヵ年経営計画 2018-2020 を下記の通り策定いたしましたので、お知らせいたします。

記

#### 1. 2017年度の振り返り

(百万円)

	期初計画	実績	計画比
売上高	40,000	37,358	-6.6%
営業利益	5,000	4,861	-2.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,500	3,279	-6.3%

住宅分野：期初計画対前期比+2% → 実績対前期比-2% (期初計画比-4%)

##### (1)住宅着工予測と実績との乖離

新設住宅着工戸数は全体として前期比減少を予測するも、一戸建てにつきましては住宅ローンの低金利等を背景に2%程度の増加を見込んでおりましたが、2017年度の持家着工戸数は前期比3.3%の減少となりました。

##### (2)普及価格帯商品の低価格化進展

住宅用のメイン照明であるシーリングライトは、BtoCルートを中心に低価格化が進ん

だことで、販売金額が減少いたしました。

## 非住宅分野：期初計画対前期比+12% → 実績対前期比±0%（期初計画比-11%）

### (1)案件受注確率の低下

店舗・施設向けの販売を伸ばすべく、2017年度において新規顧客開拓を重点的に進めました。新規開拓は一定の成果が上がり、案件のプラン・見積り数は増加いたしましたが、新規顧客に対するプランなどにおいて受注確率が低下した結果、売上の伸びを達成できませんでした。

## 2. 計画策定にあたっての考え方

### 建設市場環境

#### (1)新設住宅着工戸数は漸減

世帯数の減少などにより、新設住宅着工戸数の減少傾向は続くものと見ております。

#### (2)民間設備投資は増加傾向継続

人手不足に対応するための省力化投資や企業の研究開発投資の増加、東京五輪関連のインフラ建設等の本格化などにより、民間設備投資は前年比増加が継続するものと見ております。

### 照明器具需要

#### (1)法規制、環境政策によりLED化は引き続き進展

水銀に関する水俣条約による水銀灯からLED照明への動き、改正PCB特別措置法による蛍光灯用安定器などの早期処理、省エネ化に向けた環境政策等により、引き続きLED化の動きは進展するものと見ております。

#### (2)LED照明器具は普及期から成熟期へ

2011年以降、普及が拡大してきたLED照明器具は、前期において既に出荷の95%を超える構成比となり、成熟期へと移行しております。

省エネ価値に加え、IoT/AIなどの技術革新に対応した新たな価値創出への取り組みが必須と考えます。

#### (3)フローからストックへ

フローにおけるLED化が既に95%超となり、今後は政府目標「高効率照明（例：LED照明、有機EL照明）について、2030年までにストックで100%の普及を目指す」にもあるように、既存光源照明器具からLED照明器具への更新需要が安定的に発生する見通しです。

#### (4)海外でのLED化進展

LED照明の世界市場が進展、大きなマーケットとなることが予想されます。

### 3. 数値目標

(百万円)

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
売上高	38,700	40,000	40,000
営業利益	5,070	5,200	5,200
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,490	3,600	3,600

### 4. 重点施策

#### (1)CONNECTED LIGHTING の普及促進

無線による照明コントロールシステム「CONNECTED LIGHTING」について、対応製品のラインナップ拡充（住宅、店舗、施設、屋外など全分野にわたって品揃えを強化）とともに、操作性の向上（かんたん操作のコントローラー開発等）や、低価格帯製品の投入により、更なる普及拡大を図ってまいります。

#### (2)店舗・施設向け提案営業の強化

これまで進めてきた店舗・施設など非住宅分野の顧客開拓を引き続き進め、受注獲得に向けては各地域営業担当と専任部署（光環境プロジェクト、今年度より発足の首都圏商環境開発課等）との連携を強化するなど、顧客ニーズに合った魅力的な照明提案をタイムリーに行い、受注確度の向上を目指します。

#### (3)住宅ストックのLED化提案推進

省エネと光の質の向上を実現する製品ラインナップ（使いやすさの追求、豊富で多様なデザイン、演出等の充実など）を取り揃え、リフォーム需要に対し、高確度の受注を目指してまいります。

各地域営業担当は、改めて顧客の掘り起しに注力し、新設住宅着工戸数が減少する中においても住宅向け販売の維持、拡大を図ってまいります。

#### (4)ASEAN、中東を中心とした海外市場への展開

拡大を続ける海外のLED照明市場に対し、Made in Japan の高品質照明と、効果的な照明提案で大幅な販売増を果たすべく、各地代理店への営業活動を引き続き進めてまいります。

以 上